

佐久穂町林業創生戦略（案）に対するパブリックコメントに寄せられたご意見とその回答

- ・意見募集期間：令和7年11月28日～12月12日
- ・いただいたご意見：3件（1名）
- ・ご意見については、その要旨を記載しています。

No.	該当ページ	ご意見	ご意見に対する回答
1	1	<p>・町内で生産された木材が、価格差などを理由に地域外へ出荷され、地域内で十分に流通・活用されていないと聞いた。基本理念に掲げる“お金と資源が地域内で循環する仕組みづくり”の考え方を踏まえ、公有林で生産された木材については、可能な限り地域内へ出荷するよう促すべきである。</p> <p>・また、地域内へ出荷を促すために運賃補助や伐出補助などの支援制度の導入を検討してはどうか。</p>	<p>・公有林整備事業における生産物の販売契約につきましては、受託者と有利販売契約を締結しており、販売時期、販売先については受託者に委ねております。一方で、町としては、基本理念を踏まえ、可能な限り地域内での木材流通が図られるよう働きかけを行っており、今後も引き続き促してまいります。</p> <p>・いただいたご意見を踏まえ、施策の企画・立案の参考にさせていただきます。</p>
2	13	<p>地域内の林業素材生産活動により発生する低質材について、より有効に活用することで、低コストで地域内循環を実現できると考える。具体的には、町外へ出荷されている広葉樹丸太の地域内活用や、針葉樹丸太をチップ原料以外にも薪材や公共工事等に活用すること、さらに木質チップを地域内の施設整備や環境整備に利用する必要があると考える。あわせて、チップ製造過程で発生する樹皮や木片、木粉などの副産物についても、木質バイオマス燃料等として地域内で活用するできればよいと思う。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、関係部局、関係機関と連携の可能性を検討し、木材の地域内活用施策の企画・立案の参考にさせていただきます。</p>
3	30	<p>・P30の「林業から派生する産業を興そうとする展望がない。」という会議の意見に対し、とても残念に思う。</p> <p>・後継者不在などの課題を踏まえ、将来的に第三セクター化により事業の拡大や新たな産業創出を検討してはどうか。</p>	<p>・P30「林業から派生する産業を興そうとする展望がない。」については、過去6年間（2019～2024年度）の「取組・成果」に対する「見直しが必要な点」として整理したものとなります。2025年度以降は、地域づくりプロジェクトを通じて、カラマツ活用方法を含め、林業から派生する産業について協議を行ってまいります。</p> <p>・町内事業体の後継者不足は地域全体の課題と認識しており、いただいたご意見を踏まえ、関係者との意見交換や事例研究に努めてまいります。</p>